国際シンポジウム　障がい児・者への認知行動療法

基礎、応用心理学からの検討
研究と実践の融合の発展に

▲ 講演するジェニファー・カレン女史

社会知性開発研究センター／心理科学研究センター主催の国際シンポジウム「Development and current situations of Cognitive Behavioural Therapy for children and/or persons with disabilities―障がい児・者への認知行動療法　基礎研究から応用実践へ　その発展と今―」が、8月31日、神田キャンパスで開催された。

今回のシンポジウムでは、応用心理学（臨床）を主軸に置き、オーストラリアクイーンズランド脳損傷協会「シナプス」のCEOであるジェニファー・カレン女史を招き、基調講演が行われた。講演では障がい（身体、発達、高次脳機能、および精神）を有する児・者に対して、認知行動療法による効果的な支援方法だけでなく、治療にとどまらない包括的な援助や障がいを有する児・者の権利に対する擁護がいかに行われているのかが紹介された。

続いて心理科学研究センター研究員である本学人間科学部の岡村陽子准教授、国里愛彦講師、長田洋和教授の3人が同センターでの研究報告を行った。

岡村准教授は、専修大学心理教育相談室の活動である高齢高次脳機能障害をもつ人への認知リハビリテーションの効果を報告した。また、国里講師は基礎研究の観点から、認知行動療法による介入が抑うつ患者の脳機能に与える効果について報告し、認知行動療法が脳機能の改善に有効であることを示唆した。

さらに、長田教授はわが国における発達障害に対する理解と知識について紹介し、これらの情報を一般社会に対して適切に広げていくことが、障がい児・者への理解や効果的な支援を実施していく上で重要であると報告した。

講演は高次脳機能障害、気分障害、発達障害といった種々の障害に対して、基礎心理学、応用心理学から検討することで、研究と実践の融合の発展につながった。講演の後半においては、研究者だけでなく一般参加者からも多くの質疑応答があり、活発な議論が行われた。

（心理科学研究センター）

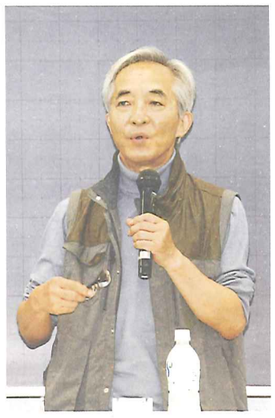
▶ 講演する長田教授
Moderator

▶ 多くの聴講者が訪れた（壇上は岡村准教授）

文学部人文・ジャーナリズム学科＆日本ペンクラブ協力講座

言葉とメディア

吉岡忍氏が講義



文学部人文・ジャーナリズム学科と日本ペンクラブの協力講座「言葉とメディア」（担当・山田健太文学部教授）が9月25日、生田キャンパスで始まり、トップバッターとしてノンフィクション作家の吉岡忍氏が2週にわたり講義した＝写真㊧。

約100人が聴き入った10月2日の講義では、放送倫理・番組向上機構（BPO）の放送倫理検証委員を務めた経験から、ねつ造や自作自演などテレビ番組にまつわる不祥事を例に、制作者が陥りやすい落とし穴について説明。「皆さんはコピー&ペーストが氾濫するあやふやな情報の海にいる。突破するには何をどう書くか自分らしい文章を突き詰めるしかない」と語り、文章力を磨く秘策を伝授した。

その方法とは、本を読んで気に入った言い回しや文章を書き抜くこと。「何を面白いと感じ何に感動しているか、自分の感性や考え方がわかる。書き抜いた表現を何度も読み直し、実際に使ってみることを10年続ければ、確実に文章力がつく」と請け合った。

12月18日までの全12回。吉岡氏に続き直木賞作家の中島京子氏、エッセイストの三宮麻由子氏など作家や編集者、翻訳家6人が2回ずつ教壇に立つ。同学科ではこれまで毎日新聞社、読売新聞社、日本写真家協会と協力講座を開設しており、最前線で取材する記者やジャーナリストによる生の報告は学生の知的好奇心を高めている。

公開講座情報

スポーツ研究所公開シンポジウム2013「カレッジスポーツのチカラを考える～大学スポーツ復活に向けて～」

カレッジスポーツ戦略に先駆的に取り組む大学関係者と学生、ジャーナリズムの専門家がカレッジスポーツの未来像を描き出す。聴講無料。

▽日時＝10月21日（月）15時～17時40分▽場所＝生田キャンパス1030教室▽基調講演＝松浪健四郎氏（日本体育大学理事長）▽シンポジスト＝松浪氏、田中理恵氏（日本体育大学助教／オリンピアン）、長澤和輝氏（経営4／本学サッカー部）、山田健太文学部教授

問スポーツ研究所 E-mail:sports@isc.sens hu-u.ac.jp ☎044・911・1032

大学院経済学研究科政策科学シンポジウム「日本経済の課題―アベノミクスを総点検する―」

岐路に立つ日本経済において、アベノミクスは起死回生の決定打となるのか。学外から日本経済分析の第一人者と人口とデフレ問題の論客を招き、本学経済学部の教員を交え、日本経済の課題を総点検する。聴講無料。

▽日時＝10月30日（水）14時30分～18時▽場所＝神田キャンパス731教室▽基調講演＝小峰隆夫氏（法政大学大学院政策創造研究科教授、日本経済研究センター理事・研究顧問）▽パネルディスカッション＝小峰氏、藻谷浩介氏（㈱日本総合研究所調査部主席研究員）、西岡幸一教授、田中隆之教授、伊藤恵子教授▽コーディネーター＝櫻井宏二郎教授

問大学院事務課【生田】☎044・911・1271【神田】☎03・3265・6568

社会科学研究所関東大震災90周年記念創造研究科教授、日本経済研究センター理事・研究顧問）▽パネルディスカッション＝小峰氏、藻谷浩介氏（㈱日本総合研究所調査部主席研究員）、西岡幸一教授、田中隆之教授、伊藤恵子教授▽コーディネーター＝櫻井宏二郎教授

問大学院事務課【生田】☎044・911・1271【神田】☎03・3265・6568

社会科学研究所関東大震災90周年記念「大正デモクラシーも一つの可能性―吉野作造・加賀乙彦・末弘嚴太郎をめぐって―」

▽日時＝11月2日（土）14時～17時30分▽場所＝神田キャンパス731教室▽報告者＝大川真氏（吉野作造記念館副館長）、戒能信生氏（東駒形教会主任牧師）▽コメンテーター＝内藤光博法学部教授▽司会＝古川純名誉教授▽共催＝特定非営利活動（NPO）法人現代の理論・社会フォーラム

問☎03・3262・8505。聴講無料。

心理科学研究センターシンポジウム「生理心理学のフロンティア」

▽日時＝11月10日（日）14時～17時15分▽場所＝神田キャンパス731教室▽講師＝立花政夫氏（東京大学大学院人文社会系研究科教授）、岡田隆氏（上智大学総合人間科学部教授）、小林克典氏（日本医科大学大学院医学研究科薬理学分野講師）、石金浩史人間科学部准教授。聴講無料。

問社会知性開発研究センター事務課 E-mail:socio@acc.senshu-u.ac.jp

図書館特別展示

フランス革命と日本の自由民権に関する特別展示を開催する。「人権宣言」「ナポレオン法典」ほか約40点。入場無料。

▽期間＝11月19日（火）から26日（火）まで▽時間（予定）＝平日12時～16時、土・日曜10時～16時▽場所＝生田キャンパス図書館3階研修室

問☎044・911・1274

◇講演者◇

講義はすべて英語で行われた。各テーマは次のとおり＝敬称略。

【基調講演】

Jennifer Cullen（ジェニファー・カレン）

「SYNAPSE's efforts and achievements for children and persons with disabilities」

【研究報告】

岡村陽子「A practice of neuropsychological rehabilitation for the elderly with acquired brain injury」

国里愛彦「Neural mechanisms of Cognitive Behavioral Therapy for depression」

長田洋和「Literacy of developmental disorders in Japanese general population」